

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>①SSH事業を計画実施し、探究的な学習や活動を通して様々な課題を解決し、社会に貢献しようとする強い意志を持った生徒を育てる。</p> <p>②国内外での多様な関わりの中で、情報活用能力、問題発見能力、論理的思考力等の資質・能力を向上させることにより視野の広い生徒を育てる。</p>	<p>①SSH 指定校として、生徒に身に付けさせたい8つの資質・能力(情報活用能力/論理的思考力/問題発見・解決能力/課題設定力/課題解決構想力/協働解決力/国際通用力/倫理観)の向上に全職員で取り組む。</p> <p>②左記の資質・能力を育成する学校行事計画や生徒会活動に取り組む。</p>	<p>①SSHⅡ期の申請に向け、共創・探究科を含むすべての教科において、左記の資質・能力の向上を図るために、「単元の指導と評価の計画」の設計及び改善に向けた授業実践を組織的に行う。</p> <p>②行事や生徒会活動において、生徒が主体となって組織的な運営を行い資質・能力を向上させる支援を行い、教科外活動の充実を図る。</p>	<p>①生徒による授業評価やSSHに関するアンケート調査、アセスメント等の結果から、資質・能力の向上を見取ることができたか。</p> <p>②「魅力と特色づくりアンケート」結果で、「充実した教科外活動ができた」との回答が90%を超えたか。</p>					
2	生徒指導・支援	<p>①心身を健やかに保ち、自己理解及び他者理解ができる生徒を育てる。</p> <p>②部活動の活性化を通して責任感や連帯感の意識を涵養する。</p>	<p>①・生徒の悩みや困っていることを積極的に把握し、解決に向けて、外部機関等の連携を行い、支援の充実を図る。</p> <p>・生活規律を確立させる指導を行う。</p> <p>②部活動を通して主体的に行動できる生徒の育成を支援する。</p>	<p>①・「かながわサポートドック」等の取組やSC・SSWとの連携により、効果的な支援を行う。</p> <p>・全校集会やHR等において登下校時の自転車や公共交通機関乗車に係るマナー、挨拶励行などについて生徒に考えさせる指導を行う。</p> <p>②部長会を定期的開催し、生徒の主体的な活動を支援する。</p>	<p>①・サポートドック等の取組を通じて、SCやSSWと連携し効果的に支援することができたか。</p> <p>・生徒の自律的態度が定着し、近隣住民等の外部評価が向上したか。</p> <p>②部長会での決定について、生徒が実践し、主体的な活動を行うことができたか。</p>					

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	①より高いレベルの進路実現に向け、持続的に力を尽くすことのできる生徒を育てる。 ②何事にも果敢に挑戦する態度を育み、社会をけん引することのできる、未来を拓くリーダーを育てる。	①生徒の学習状況を細かに把握するとともに、必要な情報を適宜提供し、最後まで諦めさせない進路指導を貫き、生徒の希望の実現を支援する。	①生徒が進路の実現に向けて「振り返り」を行い、「見通し」をもって学びを進めていくように支援し、データを示して前向きに取り組む助言を行う。	①進路通信や進路講演会及び面談において、最新の必要な情報を提供できたか。					
4 地域等との協働	①地域社会と積極的に関わり、社会と学校が連携し、安心安全な環境づくりに取り組む。	①地域社会の資源を活用した教育活動の充実、及び地域活性化行事への参画支援を図る。	①キャリア支援において、地域社会の資源を活用した取組、及び地域活性化行事への取組を支援する。	①同窓会、PTAを含め、地域社会の資源を活用し、生徒の主体性を育む取組ができたか。					
5 学校管理 学校運営	①教育公務員としての高い倫理観を保持し、健全な職場環境を作り、事故不祥事防止に努める ②すべての教員が学校教育目標を共有し達成に向けて協働して取り組む学校文化を継承する ③学校運営協議会をいかした学校運営を推進し、地域とともにある学校づくりを推進する。	①リスクマネジメントを強化するとともに、ワークライフバランスの推進に向けて、業務の精選・効率化を図る。 ③ホームページ等で本校の特色、教育活動や成果等の魅力を発信する広報活動を充実させる。	①・不祥事ゼロプログラムを遂行する。 ・業務の精選とICTの利活用による校務の効率化を推進する。 ③小中学校等地域への情報発信を積極的に行う。	①不祥事防止研修を計画的に実施できたか。業務の効率化を図ることができたか。 ③学校説明会や学校行事の情報をホームページ等で逐次発信することができたか。					